



HDC ニュースレター

一般社団法人 全国在宅療養支援歯科診療所連絡会
<https://www.hdc-2017.com/>

dec./2026
第16号

挨拶

皆様こんにちはHDC会長三木次郎です。

今年も押し詰まってきました。皆様ご健勝のこととお喜び申し上げます。本年2025年は団塊の世代が後期高齢者の仲間入りし、高齢者医療の転換点だということで2025年問題と言われていました。

2025年までの道のりは、コロナ感染症のパンデミック等かなり困難な時期もありましたが、皆様の努力のおかげでどうにか、その山を越えることがことができました。

しかし、今後は2040年問題という大きな節目があります。これは2040年に団塊ジュニア世代が前期高齢者になるというものです。歯科関係では歯科診療所の都市部への一極集中や後継者の問題などが顕在化してきます。医科においても病院の閉鎖や医師不足などが大きな問題となってきました。これらの要因の一つとして考えられるのは高齢者人口に対する働く世代の極端な減少です。

そして2040年問題は2025年問題より深刻な状態と考えられます。またこの深刻な状況は2040年を過ぎてからもまだしばらくは続きそうです。

2040年へ向けた高齢社会の対策として以下の様なことが考えられています

高齢社会への対策

多様な就労・社会参加の環境整備

70歳まで就業機会の確保

地域共生・地域の支え合い 一極集中はどうする

健康寿命の延伸・要介護の期間を短くする。

生活習慣病の予防、疾病予防・重症化予防

介護予防・自立支援、フレイル対策、認知症予防

医療・福祉サービスの改革による生産性の向上

ロボット・AI・ICT等の実用化

タスクシフティング・シニア人材の活用

社会保障制度

減少する働く世代では、増加する社会保障費用を支えきれず社会保障の持続のためには、多くの問題を解決しなくてはなりません。

高額医療費の限度額を上げる。保険制度改革

地域共生・地域の支え合いなどは主に住民の努力であるし、健康寿命の延伸や、介護予防や自立支援は主に医療・介護・福祉が一体となって考えていく問題です。

また医療・福祉サービスの生産性の向上は、主に医療・介護・福祉と産業や技術開発が一体となって考えていくもので、また社会保障制度の問題は、今まさに国会での論争なっているように国レベルの問題です。このように高齢社会への対策は政府主導の制度整備と、個人の健康維持や社会参加の促進が重要です。

HDCでもこの様な状況を迎えることにあたってなんらかのアクションを、起こして行きたいと思っています。今回は2040年を見据えて。2025年までにHDCで開催された講演会を順次配信したいと考えています。

シリーズの第一回目として、2022年3月27日のHDC講演会を配信します。戸原玄先生、大田秀樹先生の講演です。古い講演ですが、根本の考え方は、今と全く変わりません。今後、大いに参考になると思います。視聴については別紙に掲載します。

また今後、いろいろな事業を考えていますので、皆様のご協力よろしくお願いたします。

以上長くなりましたが、会員の皆様のご健康をお祈りして、年末の挨拶といたします。

HDC 会長 三木次郎

事務局



一般社団法人全国在宅療養支援歯科診療所連絡会

〒343-0807埼玉県越谷市赤山町 4-13-23 中里歯科医院内連絡会サポートセンター

TEL:048-979-5777

FAX:048-979-5770

Mail:doctorlink@nifty.com または doctorlink3@gmail.com